広島の路面電車が大きく変わろうとしています

（中国運輸局鉄道部）

令和元年１１月２９日（金）午前１１時３０分より、中国運輸局長室で広島電鉄(株)に対する特許状の交付式を行いました。こちらは、今年４月２４日(水)に広島電鉄（株）から提出された広島駅南口広場へ高架で進入する新規ルート（１．１Ｋｍ）を整備する軌道事業の申請（軌道法第３条）に対する国土交通大臣による特許です。

特許状を土肥中国運輸局長（右）から広島電鉄(株)の椋田社長(左)へ

記　念　撮　影

これにより、広島市内中心部と広島駅を結ぶ路面電車の乗車時間が約４分間短縮されるとともに広島駅でのＪＲとの乗換時間が約１分間短縮される見込みです。

今後、猿猴橋町電停は廃止となりますが、市内中心部の環状ルートを整備するとともに新規ルート上に新たな電停を設置し、利用者の利便性の向上を図って行く予定です。

広島駅南口広場再整備・駅ビルの完成イメージ　［広島市提供］

外観イメージ

内観イメージ

今回の特許は、広島電鉄(株)として、創立以来「初」となるものです。中国運輸局鉄道部としては、今後も地域の関係者と連携を図りつつ、着実に鉄軌道事業の取組を推進して行きます。